

令和3年度 第2回多賀町立図書館協議会会議録 (抜粋)

開催日時	令和3年10月22日(金) 午後3時30分～午後5時10分
開催場所	あけぼのパーク多賀 2階 大会議室
出席者	副会長 川瀬 修 委員 長谷川 毅 委員 松林 淑子 委員 武山 由紀 委員 火口 悠治 委員 夏原 晃久 委員 桐山 圭市 委員 宮野由紀絵
事務局	山中教育長、大岡館長、岸本課長補佐、建部係長
欠席者	会長 小林 紳悟
協議事項等	(1) 川瀬副会長あいさつ (2) 山中教育長あいさつ (3) 協議・報告事項 ①令和3年度利用状況について ②令和3年度事業の中間報告について ③令和4年度事業(案)について (4) その他 ①令和3年度図書館協議会交流会開催について
内 容	
(1) 川瀬副会長あいさつ (2) 山中教育長あいさつ (3) 協議・報告事項について	
副会長	事務局より協議・報告事項について説明願います。
① 事務局	令和3年度利用状況について 令和3年度多賀町立図書館利用実績および前年度との比較説明。 緊急事態宣言中における臨時移動図書館の実施説明。(学童含む) また、関連もありますので、令和3年度事業の中間報告も併せてさせていただいてもよろしいですか。

副会長 併せて説明をお願いします。

② 令和3年度事業の中間報告について

事務局 4月から8月までは、開館時間を短縮しながらではあるが、「映画会」や「おはなしのじかん」などの事業については、順調に開催することができた。9月は、緊急事態宣言のため中止し、10月から新たに再開している。

副会長 利用状況については、9月分までは概ね前年度並みとのこと。中間報告について何かありましたらお願いします。

委員 今年もコロナで休館となりましたが、予約本が受け取れるとのこと、来館したが、貸出していない本については、予約をすることはできないのですか？

事務局 現在、館内にある本は、予約対象としていない。

委員 長期間閉館された場合の予約貸出で、図書館システムでの改善ができるのならその対応はできますか？

副会長 最近では、開架有（在架）の場合、予約できる図書館が多くなってきた。在架予約が困難な理由としては、頻繁に確認作業が生じるため。Web予約された場合、数時間ごとに確認作業が必要になる。在架にあれば、来館しなくても、確実に借りることができるので、利用しやすい。長浜市立図書館は、在架予約を行っている。

委員 貸出については、カウンター貸出が優先であるが、休館されたら在架予約を考えていく必要があるのでは。

副会長 図書館システムとしては、特に問題はない。長時間の滞在を抑える効果もある。コロナ禍では、ゆっくり本を探すことができない。

委員 やはりWeb予約が少ない。通常は在架予約できないが、長期休館の時は変更しても良いのではないか。

委員 長期間休館されており、この期間中に何か変化していないか期待していたが何も変わっていない。司書によるお薦め本の紹介や展示もない。例えば、ハロウィーンのディスプレイでも変更するなどできる時間は十分あったので

は。2月の長期休みは、当然なく開けられるのか。

事務局 2月は、蔵書点検を行うので休館となる。

委員 絵本等のお薦めについて、書く時間がなかったわけではないと思うが、できていない。簡単な説明を書きまとめる。まったくその時間もないのですか。

事務局 お薦め本の紹介については、まったくその時間がないのではなく、有線放送による録音放送や違う形で新刊の紹介をおこなっている。

委員 先日、多賀大社で映画の撮影がされていた。原作本は、賞もっており、図書館にもある。そういう本の開示許可がでたら、全面的に出して、「多賀大社で映画撮影された原作本です」と一言書いてあるだけで読む気になる子もいる。若い子に人気があり、中高生にもアピールできる。お薦めの一言を書くのも良い。絵本でもこれはこれで面白いとなる。あと、紙芝居の内容を確認するための台が、相変わらず設置されていない。

事務局 最近、購入した紙芝居は、袋の後ろに紙芝居の内容がわかるようにしている。紙芝居を見られるスペースは、ボードの裏を利用いただけたらと考えている。

委員 ボードの件は、この場で聞いているが、図書館だよりなどには書いていない。ボードの後ろを使用するというのを利用者に伝えてありますか。

委員 展示は、入口の左右に置かれている。毎年同じものをするのではなく、例えば、「勇気を与えるもの」や「忍耐について」など少し違う内容のコーナー展示を設けてみてもよいのでは。余り知られていない狂言や落語など、小学校で読み聞かせをしているが、知らない子どもも多いので、次回は、狂言のコーナー展示をするなどしてはどうか。

委員 他課との連携展示などはしているのか。

事務局 数年前から、福祉保健課との連携で、オレンジリボンコーナーを設けて、啓発している。今年度も計画していたが、コロナの関係で場所を変更しての対応となった。

委員 テーマ展示のことで、ここの図書館は、動線が直線である。スロットと言うが、構造上、どうしても中の方にテーマがくるので、わかりにくい。コーナーが最後になる。人は、最初にある入口アイランドのテーマ部分に目が行

く。店でもエンドとスロットがあるが、興味を引く物から配置していく。入口でアピールした方が良い。

委員 小学校でもアイデアを出しながら、ちょこ読みコーナーや給食メニューと連携するなど目に入りやすいところに本を飾っている。先生のお薦め本なども紹介するなど、少しの工夫で本を借りてくれる。

委員 日野町でも企画展示は、入口から入ってそれぞれの書架に行く前に展示しており、目につきやすい。月ごとのテーマ展示や、月の中でもいろいろな種類・小さめの展示も適宜行っている。職員としては、大変であるが。また、その他部署との連携も、図書館側から積極的に行動して、関係する事業のパンフレットをもらうなどして、展示している。

副会長 確かに日常業務の中でのメンテナンスは大変ではあるが、どのようにしたら、利用者の方に本を借りていただけるか。利用者の方の興味を引き、目につきやすくできるか。これは、図書館の課題であると考えべきである。

委員 図書館だよりをホームページに載せていただいているが、休館中に貸出中の本に予約することができるのを初めて知った。あと、休館中に返却督促メールが来たが、休館中なのにどうしてかと思った。

委員 同じく、大型絵本を10月1日に返そうと思っていたが、家の方からの連絡で、図書館から電話が来たと言われた。今日返しに行くつもりでいたし、ブックポストに入らないのに、早く返却してくれという電話をかけてくるのはどうかと思う。職員の方に確認したら、連絡する時は、直ぐに返却してほしいとは言わずに、この土曜日もしくは日曜日に返却をお願いしますと伝えるようになっているとの話だったが、家族にその確認をしたら、そのようなことは言われていないということだった。

委員 職員の方も職務として電話をされたのでは。

委員 それでも気分が悪い。ブックポストにも返却できず、10月2日に電話をかけてくるならまだしも、もう少し考えるべき。

委員 私も電話が掛かってきたことがある。他館から借りた本をブックポストに返却したその翌日に。最初は気分が悪かったが、後で考えるとルールであり、仕事としてのことである。と思うようになった。

委員 仕事としてやったことでも、気分が悪いというのを職員に分かってもらう必

要がある。

副会長 伝え方の問題でもある。返却期限もあるのでルールを丁寧に説明する。そのことを言うにあたり、どういうことが起こるのか、利用者の側の立場で考える必要がある。ブックポストが使えないのに、休館日になぜ返却する必要があるのか考えれば。返却日を延ばすことも考えられる。

館長 普段から住民に寄り添った、おひとりごとの対応をすれば、ギクシャクしない。今後、寄り添うようにして行く。

事務局 今回の休館で、いつもより長く返却日の設定もしている。連絡する時に、休館でしたが、いつから開館するので、その旨も含めて連絡をするように職員には伝えた。また、CD・DVD・大型絵本や他館からの借受本は、職員が館内にいるので、チャイムでお知らせください。と玄関に表示をするなどして、対応している。

副会長 館長の言われるように寄り添う気持ちで対応をしてください。

委員 お互いのすれ違いがあっても、必ずしも督促だけというものではなく、お知らせの意味もあったのですね。

副会長 在架予約について、コロナというだけでなく、できないのならその理由を説明する必要がある。本の紹介・展示についても同じ。図書館として、利用者に寄り添うことはどういうことか、説明の必要性や、接遇について話し合い職員で共有して行ってほしい。

事務局 今後の課題とさせていただきます。

副会長 それでは、次の説明をお願いします。

③ 令和4年度事業（案）について

事務局 移動図書館「さんさん号」の一部巡回先および時間変更についての説明。夏休み期間の事業として、子ども達の「読み解く力」を育むための一つの施策として、読書感想文の書き方講習会等についての説明。

副会長 移動図書館と「読み解く力」（読書感想文）についての説明がありましたが、何かご意見等ありますか。

委員 読書感想文については、思ってもなかなか書くことができない。そのような指導があっても良いのでは。交通立番の時に、よく見かけるのですが、中学生のカバンが薄い。教科書を家に持って帰っていないのではないか。家

で、何をしているか聞くとゲームをしている、フェイスブックを見ているなどの話が多い。このことは教育全体で考えないといけない。1日の時間の使い方において、家庭学習として、教科書の予習・復習をしているのか。朝食を食べてきているのかなど生活習慣と併せて、やっていただくのが良いのでは。

教育長

各校に学校支援だよりを出し、この中で子どもの生活に関するアンケートを行っている。例えば、ゲームの時間、勉強の時間（家庭学習となる）など、保・幼・小・中の先生が子ども達をどう育てていくか。データを基に、発達段階に応じた取り組みを進めている。また、説明のあった「読み解く力」のことについては、全国的に弱い部分である。試験をしても、その質問文が読めないと、基本何を聞いているのか、理解できない。特に滋賀県では、「読み解く力」に取り組んでいるので、是非やってほしいと考えている。

委員

一つの意見としてお聞きいただければと思いますが、読書感想文の取り組みが「読み解く力」になるのか。情報活用能力が必要であり、調べ学習について、図書館の本を活用することの方がより身につくのではと考えます。また、読書感想文は、評価ができない。調べることについては、図書館が支援できる。もし、日野町の図書館で取り組むなら、そのように考えます。

教育長

「読み解く力」になるかどうかもありますが、図書館での新たな活動のひとつとして、まずは取り組むことが大切。また、当町では「言の葉書道展」も行っており、広範囲からの応募がある。やはり書くということも重要で、パソコンではなく、自筆で書くこと。今の時代の流れもあるが、書くことの大切さについても取り組んでいきたい。

委員

いろんなテーマで調べて、表現することは大切であると考えます。

教育長

学習として、思考力・判断力・表現力をどうするか。絶えず追求していくことが必要である。

委員

本を読むと語彙が増える。人に伝える言葉として、適切な表現か理解したり、使い分けたりして考える。「読み解く力」はそのようなものを目指しているのではないか。文書をまとめる力は、語彙が必要である。また、読書をする、昔の表現もあるので、それを読んで言葉の繋がりや、表現の仕方を学んでいく。自分自身で取り組む必要があるが、何が書いてあるかを読んで、理解して、それを活かしていくことが重要である。

副会長

図書館も教育機関であるので、子ども達を対象に、学校・教育委員会とも連

携しながら、図書館のできることを、工夫して考えてやっていってほしい。

委員

今回、移動図書館「さんさん号」で大滝たきのみやこども園の時短部に巡回に行ってくださいとのことで、良かったと思います。前館長の時には、行けないとのことでしたが、何か理由があるのですか。

事務局

現在、この巡回部分は、多賀結いの森だが、多賀結いの森に来られる方は、公民館活動などの自主活動に来られる方で、30分間そこにいても、借りていただけない。また、近隣の巡回場所として、多賀幼稚園や多賀町立図書館があり、近隣集落の方はそちらに来られることが多いと考えた。なお、最終の時間決定は、未だ調整中。

副会長

それでは、次にその他で事務局からありましたらお願いします。

事務局

県立図書館から参加依頼があった、滋賀県立公共図書館協議会交流会について、この後、参加者報告の確認をします。Zoomでの参加です。

副会長

それでは今日の会議を終了したいと思います。今回意見として出た内容は、図書館協議会からの意見として考え、受けとめていただきたいと思います。